

普及活動情勢報告（平成28年5月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

生産力向上を目指す新技術の導入・・・幡多地区環境制御技術普及促進事業説明会・・・



5月10日にJA高知はた本所、5月11日はJA高知はた宿毛支所の2ヵ所において、幡多地区の施設園芸農家を対象に、環境制御技術普及促進事業の紹介とともにメーカーを招き事業の対象となる機器の説明を行いました。

幡多地区では、農業改良普及課が行ってきたキュウリやピーマン等の実証や調査の結果、導入農家を中心とした勉強会等により、炭酸ガスの施用方法や更なる光合成速度を高める手法について農家の関心が高まっています。本説明会に参加した農家は、それぞれ関心のある機器について直接話を聞き、導入意思を固めていました。今後は、円滑な導入に向けて情報を補足し、導入後は効果的に活用できるよう技術支援していきます。

進めよう集落営農！・・・四万十市蔵岡地区での集落説明会を開催・・・



5月10日に四万十市蔵岡地区において、集落営農の推進に向けた集落説明会を開催しました。

説明会には地元農家15名が参加し、地元有志で話し合いを行ってきた経過や集落営農の必要性、取り組み方法等の説明後に、先進地のDVD視聴を行いました。参加者からは、地域全体で若手を募った取組や、今後の進め方について意見や要望が出されました。

農業改良普及課では、地区アンケート調査を皮切りに、組織設立に向けた取組を支援していきます。

活発に意見交換できるようにしよう！・・・JA高知はた宿毛支所オクラ部若手研修会・・・



4月21日、JA高知はた宿毛支所オクラ部は若手研修会を開催しました。若手研修会は今年度からの開催で、部会の40代までの生産者を中心に集め、10名が参加しました。会では、今年度の活動内容について検討し、農業改良普及課からは、視察研修先の鹿児島県指宿市について説明しました。

参加者からは、「この研修会を活発に意見交換し合える場にしていきたい」、「新規就農者を主体に栽培人数が増えている指宿をしっかりと見てきたい」、「オクラが中心ではあるが、指宿のオクラ以外の部分も十分見てきてほしい」等の声がありました。

農業改良普及課は、今後も定期的に研修会を開催し、若手生産者の支援を行っていきます。

今年はいつ頃食べられる？ ・・・らっきょう試し掘り・・・	
	4月11日、JA高知はたらっきょう部会は三崎、中村、大方の3カ所で試し掘りを行い、今年の出荷について協議しました。全地区とも順調に生育しており、出荷開始日は例年通りとなりました。 その後の販売会議では、家庭での調理に便利な500g袋への要望が根強いため、今年から500g袋の試験販売を行うなど、出荷形態について協議を行いました。また、青実や異物の混入をなくし、各出荷場間で品質の統一を図っていくよう、生産者とJA担当者ともに意識を高めました。 農業改良普及課では、今後も収量・品質の向上に向けて支援していきます。

競争力のあるオクラ産地の育成に向けて ・・・露地オクラ現地検討会・・・	
	5月18日・19日に宿毛市の3カ所で、JA高知はた宿毛支所オクラ部会は露地オクラの現地検討会を開催し、合計50名の生産者が参加しました。 農業改良普及課からは、セル苗移植栽培の育苗試験結果及びスリット入りマルチの取組について説明しました。生産者は自分のほ場と比較し、生育初期の管理方法について確認することができました。 農業改良普及課は、今後も定期的に現地検討会を開催し、オクラの安定生産に向けて支援していきます。

安全な食品づくりに向けて ・・・黒潮町佐賀北部活性化推進協議会食部会・・・	
	5月10日、佐賀北部集落活動センターで、黒潮町佐賀北部活性化推進協議会食部会を対象に「食品衛生講習会」を開催しました。 講習会では、工業技術センターの森山チーフから、脱気殺菌・倒立放冷と機密正立殺菌の違いやビンの殺菌方法、加工時の注意点や消費期限の設定方法等の説明がありました。 参加者からは、「製造者として責任感を持って商品作りをしないといけない。」「即実践しなくてはいいことがわかった。」等、今後の取組みに意欲的な声が聞かれました。農業改良普及課では、今後引き続き商品づくりや販売に向けて支援していきます。

子ども達に農業を知ってもらいたい！・・・宿毛4Hクラブ出前授業・・・



5月12日、宿毛4Hクラブは、平田小学校5、6年生29名を対象に出前授業を行いました。クラブ員1名と宿毛市のケーキ屋パティシエが講師となり、イチゴの栽培について授業を行った後、調理実習（イチゴのパバロア）を行いました。

子ども達から、「ハチを入れるのはなぜか」、「イチゴ農家の給料はどれくらいか」等、非常に多くの質問がありました。また、クラブ員からは「子ども達に農業のことを知ってもらえて嬉しい。今後もこのような活動を続けていきたい。」等の声がありました。

農業改良普及課は、子ども達への農業理解を深めるため、4Hクラブの地域貢献活動を支援していきます。

営農改善協議会ブロッコリー作業部会

・・・共同選果の導入を検討・・・



5月12日、JA高知はた下ノ加江事業所において幡多地区営農改善協議会ブロッコリー作業部会が、ブロッコリーの共同選果について協議しました。

農業改良普及課は、出荷調整作業の労力軽減、栽培面積の拡大に向けた体制整備について提案しました。

その結果、各支部の総会時にアンケート調査を行い、地域や作型を限定してでも必ず次作から共同選果を試行することになりました。

今後は、アンケート用紙の作成支援と先進地事例調査を計画して共同選果導入を進めていきます。

「夏の防除を涼しく工夫あれこれ」・・・JA西土佐支所柚子部会講習会・・・



5月15日・16日、四万十市大宮・奥屋内・橘・藤の川の4会場で、ユズの春夏期の栽培管理の講習会を行いました。

農業改良普及課は、防除効果向上や樹体管理の他、高温期防除の労働軽減として、暑熱を和らげる防除装備の工夫事例を紹介しました。

出席者はJAから紹介された通気性フィルムと不織布が素材の防除衣の購入を検討し、曇りやすいゴーグルに代わるサンバイザーの活用に興味を示しました。

今後も、栽培技術の向上に加え、農作業の安全を強く啓発していきます。